製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

1.1. 製品の特定

製品名：　**ローヤルアロー　くろぬりくん**
製品分類：　樹脂塗料
主な用途：　自動車ワイパーの補修防錆用

1.2. 会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒１８３－００４４　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー
担当部門：　営業１部
電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
作成者：　技術部　　e-mail：
改定日：　２０１７年　３月１４日

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性

・エアゾール	区分２
・引火性液体	区分３

健康に対する有害性

・急性毒性（経口）	区分外
・急性毒性（経皮）	区分４
・急性毒性（吸入：蒸気）	区分５
・皮膚腐食性・刺激性	区分２
・眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分２Ａ
・生殖細胞変異原性	区分１Ｂ
・発がん性	区分２
・生殖毒性	区分１Ａ
・特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)	区分１（肝臓、血液、呼吸器、腎臓、中枢神経系） 区分３（麻酔作用）
・特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	区分１（呼吸器、神経系、中枢神経系、聴覚器） 区分２（血液）
・吸引性呼吸器有害性	区分１

環境に対する有害性

・水生環境急性有害性	区分２
・水生環境長期間有害性	区分２

ＧＨＳのラベル要素

シンボル

注意喚起語

危険

危険有害情報

・可燃性又は引火性のエアゾール
・高圧容器：熱すると破裂のおそれ
・引火性液体及び蒸気
・皮膚に接触すると有害
・吸入すると有害のおそれ
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・遺伝性疾患のおそれ
・発がんのおそれの疑い
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・肝臓、血液、呼吸器、腎臓、中枢神経系の障害
・眠気またはめまいのおそれ″
・長期にわたる、又は、反復ばく露による呼吸器、神経系、中枢神経系、聴覚器の障害
・長期にわたる、又は、反復ばく露による血液の障害のおそれ

・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
・水生生物に毒性
・長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

予防策

・使用前にラベルをよく読むこと。
・すべての説明書きを読み、理解してから使用すること。
・上記用途以外には使用しないこと。
・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
・裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
・加圧容器：使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
・容器を密閉すること。
・涼しいところに置くこと。
・容器を接地/アースをとること。
・静電気放電に対する予防措置を講じること。
・保護手袋や保護眼鏡、保護面などを着用すること。
・取扱い後手をよく洗うこと。
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・環境への放出を避けてください。

３．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物

含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有量 mass%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR 法No.	毒劇法No.
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	1～5	1333-86-4	－	130	非該当	非該当
ｷｼﾚﾝ	13.9	1330-20-7	3-3、3-60	136	1-80	非該当※
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	13.6	100-41-4	3-28、3-60	70	1-53	非該当
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	1～10	111-76-2	2-2424、2-407	79	非該当	非該当
ｴﾀﾉｰﾙ	1.0 以下	64-17-5	2-202	61	非該当	非該当
n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ	1～10	71-36-3	2-3049	477	非該当	非該当
噴射剤　ジメチルエーテル	40～50	115-10-6	2-360	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法No.　毒物及び劇物取締法の政令番号
※キシレンは劇物に該当するが、これを含有する製剤は非該当

４．応急措置

目に入った場合：　水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。　眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合：　皮膚に接触・付着した場合、付着液を紙・布等にて素早くふき取り、もし衣類が汚染した時は脱ぎ、触れた部位を多量の水と石鹸で洗ってください。気分が悪い時は、医師に連絡してください。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯してください。

吸入した場合：　直ちに作業を中止し、空気の新鮮な場所に移り、保温とともに安静にすること。呼吸が困難な場合、ネクタイ・ベルト・ウエストバンド等の衣類の締め付けを緩めて、マウストウマウスの人工呼吸を行ってください。気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：　安静にし、直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物を飲み込ませないこと。意識のない場合には水等を与えてはならない。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

５．火災時の措置

消火剤：　炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他［大火災の場合は水］

消火方法：
- 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除く。
- 大規模火災には、適切な保護具（耐熱性着衣、手袋、呼吸保護マスク等）を着用。
- 小規模火災には、火元を遮断し、指定の消火器を使用し、消火作業は風上から行なう。
- 高温にさらされる製品容器に、水をかけて冷却する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項

- 漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。
- 作業の際には、適切な保護具（手袋・防護マスク・エプロン・ゴーグル等）を着用する。
- 漏れ発生時には風上より処置を行なうようにし、容器の漏出部を上向きにし、完全に噴射してから処置をする。
- 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 屋内で漏洩した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気すること。
- 衝撃・加熱を避ける。

環境に対する注意事項

- 河川や一般排水溝等に排出しないように注意すること。

除去方法

- 少量の場合、おがくず、ウエス、砂、紙等を用いて吸着させて、密閉できる容器に回収させて、安全な場所に移す。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策

- ばく露防止のために、作業の際には適切な保護具（手袋・防護マスク・保護前掛け・ゴーグル等）を着用する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用は避けること。（禁止）
- 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- 使用済みウエス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
- 炎に向けて使用しないこと。

注意事項

- 換気の良い場所で取扱い、容器はその都度密栓すること。
- 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着用すること。

使用時における関係法規：　消防法、危険物の規制に関する政令

保管：

適切な保管条件

- 密栓し、直射日光の当る場所や高温になる所を避け、風通しの良い冷暗所に保管する。
- 幼児の手の届かない所に置くこと。
- 転倒、転落しないように保管する。
- 火気、熱源から遠ざけて、他の薬品類（特に強酸化剤、強塩基、強酸）との共同保管はしないこと。
- 温度が４０℃以上となる所には置かないこと。
- 水回りや湿気の高い所に置くと、缶が錆びて内容物が漏出又は噴出する恐れがある。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：

- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 排気装置等を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
- 屋内スプレー作業の場合は、局所排気装置などにより作業者がばく露から避けられるようにすること。
- タンク内部の密閉場所で作業する場合には密閉場所、特に底部まで充分に換気できる装置を取り付けること。

管理濃度：　規定なし

許容濃度：　規定なし

保護具：

目の保護具	保護メガネを着用する。
呼吸保護具	有機ガス用防毒マスクを着用する。 密閉された場所では送気マスクを着用する。
皮膚の保護具	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
その他	有用な情報なし

９．物理的及び化学的性質

外　観	：黒色液体	臭　気	：溶剤臭
ｐＨ値	：該当しない	発火点	：240℃
引火点	：２８．０℃	爆発範囲	：1.1～11.25vol％
沸　点	：117.7～171.2℃	密度（比重）	：０．９８８（２０℃）
蒸気圧	：1333Pa（32℃）	溶解性	：データなし

１０．安定性及び反応性

酸化性：　なし

自己反応性：　なし

爆発性：　　あり
安定性：　　化学的に安定
反応性：　　なし
危険有害な分解生成物：　燃焼などにより有害性ガス（一酸化炭素など）の発生する場合がある。
その他の危険情報
　　エアゾール製品のため、４０℃以上になると破裂の恐れがある。
　　高圧ガスで可燃性がある、ごく弱い麻酔性がある。

１１．有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）
組成物質の有害性及びばく露濃度基準

成分名	管理濃度（安衛法）	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH(TLV-TWA)	ACGIH(TLV-STEL)
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	設定されていない	設定されていない	3.5mg/m3	設定されていない
ｷｼﾚﾝ	50ppm	50ppm	100ppm	150ppm
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	設定されていない	50ppm	100ppm	125ppm
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	25ppm	設定されていない	20ppm	設定されていない
ｴﾀﾉｰﾙ	設定されていない	設定されていない	1000ppm	設定されていない
n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ	25ppm	最大50ppm(150mg/m3)	20ppm	設定されていない
ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない

有害性情報

成分名	急性毒性 経口 (mg/kg)	急性毒性 経皮 (mg/kg)	急性毒性 吸入	皮膚腐食性/刺激性	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	呼吸器感作性 皮膚感作性
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	区分外 (15400)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ｷｼﾚﾝ	区分5 (3500)	区分5 (4350)	区分5 (6700)	区分2	区分2A	分類できない
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	区分5 (3500)	区分5 (15400)	区分4 (4000)	区分3	区分2B	分類できない
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	区分4 (1746)	区分2 (135)	区分2 (450)	区分2	区分2A	区分外
ｴﾀﾉｰﾙ	区分外 (>5000)	分類できない	区分外 (20000)	区分外	区分2A-2B	分類できない
n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ	区分4 (1227)	区分5 (3636)	区分外 (>8000)	区分2	区分2A	分類できない
ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分名	生殖細胞変異原性	発ガン性	生殖毒性	特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	吸引性呼吸器有害性
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	分類できない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
ｷｼﾚﾝ	区分外	区分外	区分1B	区分1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)、区分3(麻酔作用)	区分1(呼吸器、神経系)	区分2
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	区分外	区分2	区分1B	区分2(中枢神経系)、区分3(気道刺激)	分類できない	区分1
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	区分外	区分外	区分2	区分1(中枢神経系、血液、腎臓、肝臓)	区分2(血液)	
ｴﾀﾉｰﾙ	区分1B	区分外	区分1A			分類できない
n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ	区分外	区分外	区分外	区分3(気道刺激、麻酔作用)	区分1(中枢神経系、聴覚器)	区分2
ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

その他の情報：キシレンは麻酔性がある。
　　液状のガスが皮膚に触れると、炎症や凍傷を起こす恐れがある。ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙはごく弱い麻酔性がある。

１２．環境影響情報

成分名	水生環境急性有害性	水生環境慢性有害性
ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	区分外	区分4
ｷｼﾚﾝ	区分2	区分2
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	区分1	区分外
ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ	区分2	区分外
ｴﾀﾉｰﾙ	区分外	区分外
n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ	区分外	区分外
ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	分類できない	分類できない

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れ出ないように対処すること。

生態毒性：情報なし
残留性　：情報なし
蓄積性：　有用な情報なし
土壌中の移動性：　情報なし

１３．廃棄上の注意

- 廃棄の際は、中身を使い切ってから、火気のない戸外でガスを完全になくなるまで、ボタンをしてガスを抜いてから、廃棄すること。
- ガスを抜く場合、噴出に注意すること。
- エアゾール製品の安全廃棄指針に従って行なうこと。(エアゾール製品対策協議会制定)
- 廃棄処分は、行政指導に従い行なう。

１４．輸送上の注意

陸上輸送：　消防法、高圧ガス保安法等の危険物輸送について定めるところに従う。
海上輸送：　消防法、高圧ガス保安法、船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送：　消防法、高圧ガス保安法、航空法に定めるところに従う。
国連分類：　IMDG ｺｰﾄﾞ class2.1
国連番号：　1950

１５．適用法令

① 消防法：　危険物第４類第２石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
② 高圧ガス保安法：　適用除外（液化ガス、可燃性ガス）但し政令告示並びに高圧ガス保安一般規則規定に従う。
③ 労働安全衛生法：第５７条　名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
61 ｴﾁﾙｱﾙｺｰﾙ、70 ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、79 ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉﾌﾞﾁﾙｴｰﾃﾙ、130 ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ、136 ｷｼﾚﾝ、477 n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ
④ 船舶安全法：危険物（高圧ガス）引火性液体
⑤ 航空法：高圧ガス、引火性液体
⑥ 危険物船舶運送及び貯蔵規則：ＩＭＤＧコードｃｌａｓｓ2.1（ＵＮ№.１９５０）
⑦ 有機溶剤：第２種有機溶剤(ｷｼﾚﾝ)
⑧ 特定化学物質等（第二類物質）　3.3 エチルベンゼン（>1）
⑨ 毒物及び劇物取締法：劇物（ｷｼﾚﾝ）
⑩ 大気汚染防止法：有害大気汚染物質（ｷｼﾚﾝ類、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙﾓﾉｴﾁﾙｴｰﾃﾙ、n-ﾌﾞﾀﾉｰﾙ、ｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ
⑪ ＰＲＴＲ法：第１種指定化学物質（ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｷｼﾚﾝ）

※　都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

１６．その他の情報

１６．１　引用文献

① 有機溶剤ハンドブック
② 塗料原料便覧
③ オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）
④ ＪＡＣＡ（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース
⑤ 緊急時応急措置指針　［改訂第２版］　容器イエローカード（ラベル方式）への適用　日本規格協会

⑥　ＧＨＳ分類結果データベース　独立行政法人製品評価技術基盤機構

１６．２　ＪＩＳの有無
無し

１６．３　記載内容の問い合わせ先
連絡先：　株式会社ユーエスシー
電話番号：　０４２－３５１－００１１
ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

※注意
製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者に提供されるものです。
取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：(株)高野山スズキ
所在地：防府市国衛1丁目9-24
TEL:0835-22-3211